

おいしいお米にな～れ



親子で体験

農業ふれあいセンターで、5月26日、田植え体験が行われました。初めて田んぼに入る子どもも多く、あちらこちらから「うわあ、ぬるぬるする」と歓声が。苗の束から数

本ずつ取り、曲がらないように植えていきます。泥まみれになりながら「おいしいお米にな～れ！」と掛け声を掛けながら植える子どももいました。農家の人も感心するほど手際よく植えていた高木純くん(仙波町3丁目)は、「夏休みに稲の様子を見に来ます」。秋にはみんなで稲刈りも行います。



腰を伸ばしてホッと一息

愛情いっぱいの絵本が完成



『物づくりはストレス発散にもなって楽しい』と、参加した皆さん

6月6日・20日、北公民館で行われた「はじめての布絵本作り2」。講師は布絵本工房ステッチの皆さん。参加者は「子どもが喜んでくれるかな」「孫と一緒に遊べたら」と、さまざまな思いを込めて縫っていきます。「託児があったので、集中して針仕事ができ



ました」と矢島和泉さん(谷中)。出来上がった布絵本でさっそく遊ぶ子どもの笑顔がありました。



ふおとニュース



遊び心のある茶席



6月16日に行われた「茶あそび彩茶会」。川越城本丸御殿・旧山崎家別邸・旧川越織物市場など11か所の会場には、朗読茶席や妖怪茶席など、気軽に参加できるよう趣向を凝らした茶席も設けられました。元町2丁目の会場で行われた甲冑茶席では、甲冑姿の武士が炭火で沸かした湯で川越産の茶を入れます。「野だては初めてです。野戦の様子を感じられて、面白い体験ができました。この後もいろいろ回ってみます」と、西東京市から訪れた杉崎真佐子さん。午前中はあいにくの雨でしたが、午後には上がり、2,300人を超す方が茶を楽しみました。

いつまでも大切に

つばさ館の自転車再生工房の方が講師となり、6月22日、自転車修理講座が開催されました。パンクの修理方法や緩んだブレーキの直し方などを実演。「ブレーキ音を消すには」「ペダルのがたつきはどうしたら直るか」などの質問が飛び交いました。20年以上乗っている自転車を持参した小沼和之さん(今成3丁目)は「ずっと自分で直してきて、チェーンの調整が一番難しかった。今日教えてもらったことを生かして、これからも大切に



ポイントをマモに取る人や作業の様子を撮影する人も